

出前授業・模擬選挙	模擬議会・議員との交流	大学・若者グループ等との交流	【参考】 学校・民間団体が主体の取組
地方公共団体主体	他の機関(税務署)と連携	若者議会・こども議会	座談会等
小学生等	中学生	高校生	大学生・短大生・高専生
		特別支援学校生	若者層 (10～20代)

①9群馬県 (人口1,930,976人) ※令和5年1月1日現在

主権者教育を推進する群馬県大学コンソーシアム

■取組の概要

- 県内すべての大学・短期大学・高等専門学校及び群馬県選管で協定を締結し、「主権者教育を推進する群馬県大学コンソーシアム」を設立。

〔実施内容〕

- A 情報提供型 : 県選管等からの情報を学生に発信
- B 授業型 : 大学等でオリエンテーション等の機会に講義
- C 学生チーム型 : 学生がチームとなり自ら啓発活動を企画・実施
- D イベント型 : 大学祭等で情報発信や啓発イベントを実施



実施概要

実施年度	令和3年度から毎年実施
対象者	県内すべての大学・短期大学・高等専門学校(計24校)
参加者数	学生チーム:22名(7大学2短大)(令和5年度)
事業規模(予算)	108万円(学生チーム型の委託費・旅費・その他需用費)(令和5年度)

■実施の経緯

<取組を開始するに至った経緯>

- 若年層の投票率が長期的な下落傾向にある中、選管による選挙出前授業を実施していたものの、効果が一時的な興味・関心の喚起に止まる傾向が見られていた。
- また、大学生参加型選挙啓発チームが発足したが、一部の大学に偏っていたため、より多くの大学・学生の声を取り入れた取組をできないか、という問題意識があり、コンソーシアムの発足に至った。

■実施の体制

<庁内の実施体制>

- 選管委員4名、書記8名、会計年度任用職員1名。

<外部との連携>

- 県内のすべての大学・短期大学・高等専門学校。

■取組の効果・成果

- 県内すべての大学等が「コンソーシアムだより」をメールシステムや掲示板を用いて全学生に通知しており、全学生への通知方法が確立された。
- 学生たちが、チームとして自発的に選挙啓発について考え、行動するようになった。

<これから取組を始める団体へのメッセージ>

主権者教育は、「始動人※」を育てることであります。行政の縦割りにとらわれず、部局横断でとにかくアタックを！学生の意見を大切にして、できないことを考えるのではなく、どうやったらできるのかを考えましょう！

※始動人：「自分の頭で考え、他人が目指さない領域で動き出し、生き抜く力を持つ人」のこと(群馬県が目指す人物像)。

★より詳しい情報はこちらへ

【主権者教育を推進する群馬県大学コンソーシアムについて】
<https://www.pref.gunma.jp/page/21857.html>



■取組のステップとポイント

① 事前準備

【3月頃】翌年度に向けた準備

- ・各学校の代表者・担当者の一覧の更新
- ・学生チームの組織に係る学生の推薦について、各学校に依頼。

【4月頃】実施計画書の作成依頼

- ・各学校における当該年度実施計画書の作成を協定大学に依頼。

【5月頃】実施計画書のとりまとめ

- ・実施計画のとりまとめの共有。
- ・学生チームの推薦者のとりまとめの共有。

② 取組実施

A 情報提供型

- ・選挙の情報や選挙の大切さ等を伝える「コンソーシアムだより」を作成し、大学等に情報提供。
(令和5年度：計8号を発刊)

B 授業型

- ・通年で大学等で出前授業を実施。
- ・県選管は、授業に必要な素材を提供するとともに、講師を担当。
- ・講義（60～90分）の時間に応じて対応。
- ・新入生オリエンテーションの場でも実施。

C 学生チーム型

- ・複数のグループに分かれて、啓発活動を企画・実施。
- ・県選管は、学生チームによる活動の企画立案を支援し、ミーティング等でファシリテーターや講師を担当。

(令和5年度)

- 5月 第1回ミーティング
- 6月 知事選に向けた選挙啓発活動
- 9月 第2回ミーティング
- 11月 主権者教育インタビュー、選挙出前授業、選挙啓発資材の作成
- 2月 講演会及び学生交流会

D イベント型

- ・大学祭で架空の首長選挙等の模擬選挙を実施。

③ 実施後

【2～3月末】振り返り・共有

- ・代表者会議にて、当該年度の取組等を協定大学等間で共有。

【ポイント】

- ・協定の締結にあたっては、選管が関係部局・県議会・県内全大学を回って説明し了解を得た。

【ポイント】

- ・参加学生を確保するため、大学に直接訪問し、説明をして周知を図ることが重要。



出前授業の様子（高崎商科大学）

【ポイント】

- ・学生チーム型では、学生の発案を大事にし、学生が取り組みたいと思うことができるように、インタビュー先等各関係機関との調整を選管において行う。



選挙啓発活動の様子



インタビューの様子

主催者教育を推進する群馬大学
コンソーシアム 学生チーム
主権者教育アカデミー1
【第1部】
講師：主権者教育アドバイザー
高崎経済大学地域政策学部
増田正教授

【担当】
「若者の投票意向」を目標に、省庁の啓発活動
などの知見などを踏まえ、学生チームなどの
関係者等と連携し、「啓発活動」を
実施の上、県内各大学のチーム間で共有してください。

※実施時期：令和6年11月1日（金）
「1次選挙（県議会選挙）1部及び2部の出欠」を
機軸の上、県内各大学のチーム間で共有してください。

令和6年2月19日（月）
第1部：13:30～14:30 講演会
場所：群馬県国府宮 第1号3号会議室（群馬県庁11F）
第2部：14:45～15:45 学生交流会
場所：群馬県国府宮 第1号3号会議室（群馬県庁11F）

主権者教育推進を推進する群馬大学
コンソーシアムの取組状況

【問い合わせ先】
群馬県選挙管理委員会
〒417-8502 群馬県国府宮
e-mail: sanken@pref.gunma.lg.jp

イベント周知チラシ

【ポイント】

- ・学生や大学からのアンケートをもとに、次年度に生かしていく。
- ・1年生からの参加者を増やし、学年が入れ替わる中でも継続的に活動できることが重要。